



高円宮杯 2012ホッケー日本リーグ【 男子 】 第 2 節 第 3 日

開催日時 6 月 9 日 (土) 会場 埼玉・飯能市阿須ホッケー場 天候 あめ

【全試合結果】

第1試合 11:30	名古屋フラーテルホッケーチーム 5 $\begin{pmatrix} 2 & - & 0 \\ 3 & - & 2 \end{pmatrix}$ 2 東京農業大学
第2試合 13:10	法政大学 1 $\begin{pmatrix} 1 & - & 0 \\ 0 & - & 0 \end{pmatrix}$ 0 診療印刷
第3試合 14:50	山梨学院 OCTOBER EAGLES 3 $\begin{pmatrix} 2 & - & 1 \\ 1 & - & 3 \end{pmatrix}$ 4 ALDER飯能
第4試合	0 $\begin{pmatrix} - \\ - \end{pmatrix}$ 0

【各試合の結果・詳細】

第1試合

名古屋フラーテルホッケーチーム 5 $\begin{pmatrix} 2 & - & 0 \\ 3 & - & 2 \end{pmatrix}$ 2 東京農業大学

勝点 9 勝点 3
3 勝 0 分 0 敗 1 勝 0 分 2 敗

<得点>

名古屋F : 5分福代 32分河内 43分猿養 59分橘 62分渡邊

東農大 : 37分吉田 49分三浦

<戦評>

試合開始から名古屋Fが素早いパス回しでペースを握る。名古屋は5分、ワイドな展開から左サイド深い位置からの#18福代のセンターリングが直接ゴールになり先取点となる。対する10分東農大は#23片山のセンターリングにあわせ#17瀬島がリバースシュートを打つが、名古屋FのGK高瀬がセーブ。32分、名古屋F#17橘の左からのセンターリングに#6河内が押し込み2点目をあげ前半終了。

後半は互いにPCから得点を奪う。37分に東農大#3吉田がフリックシュートを決め1点を返す。しかし43分、名古屋はPCのバリエーションシュートからGKのリバウンドを#7猿養が押し込み3点目を入れる。対する農大もPCからの#3吉田のフリックシュートのリバウンドを#10三浦が決める。

その後も名古屋Fは攻撃の手をゆるめず、59分#17橘、62分#5渡邊が立て続けに得点し、5対2で名古屋Fが勝利した。

テクニカルオフィサー	近藤 景久	アンパイア	戸塚 洋介
ジャッジ	桜本 一幸		塚本 善士

第2試合

法政大学 1 $\begin{pmatrix} 1 & - & 0 \\ 0 & - & 0 \end{pmatrix}$ 0 診療印刷

勝点 3 勝点 0
1 勝 0 分 2 敗 0 勝 0 分 3 敗

<得点>

法政大 : 10分佐藤(広)

診療印刷 :

<戦評>

立ち上がりから一進一退の攻防が続く。法政大学は素早いパス回しから、一方の診療印刷は落ち着いたボール運びからチャンスをうかがう。このような状況の中、先取点をあげたのは法政大学。10分右サイドから#4小林が持ち込み、深い位置からのセンターリングに#11佐藤がゴール前であわせる。

対する診療印刷は13分にPCを取得、#4諏訪のフリックシュートを法政大学#3中尾が防ぐ。その後も1点がほしい診療印刷は#1奥谷を中心に攻撃するが、法政大学の早いプレスの前に決定機をつくれず前半が終了。

後半開始からペース握る診療印刷。41分、42分とPCのチャンスを得るが、法政大学のDF陣が踏ん張り失点を防ぐ。その後もお互いにチャンスを作るが最後の決め手を欠く展開。68分に診療印刷がPCを取得し、バリエーションからシュートを打つが、法政大学#3中尾のすばらしい守備により得点にならない。試合終了間際のピンチを防いだ法政大学が勝利した。

テクニカルオフィサー	渡邊 希一	アンパイア	西間庭 浩
ジャッジ	桜本 一幸		鈴木 茂明

第3試合

山梨学院 OCTOBER EAGLES 3 $\begin{pmatrix} 2 & - & 1 \\ 1 & - & 3 \end{pmatrix}$ 4 ALDER飯能

勝点 6
2 勝 0 分 1 敗

勝点 6
2 勝 0 分 1 敗

<得点>

山梨 : 12分細木 21分細木 49分宇野
飯能 : 14分石田 39分浦前 61分塚田 66分浅見

<戦評>

試合開始から両チームとも長短のパスを交ぜた、攻守の切り替えの早いスリリングなゲーム展開となる。試合が動いたのは12分、山梨学院がPCを取得し、#2細木がヒットシュートを決めて先制点を上げる。対するAL飯能は素早いチェックからボールを奪い、13分に#5上向井のセンターリングを#15石田がタッチシュートを決め同点に追いつく。早いゲーム展開が続く中、21分山梨学院はPCから、またも#2細木がゴールを上げる。AL飯能もすぐさまPCからチャンスを作るが決められず、前半が終了。

後半開始からAL飯能の出足が鋭く、39分#6浦前がフリックシュートを決め再び同点に追いつく。山梨学院も49分に#21宇野が決めリードするが、61分にPCから#3塚田が、66分には#8浅見がインターセプトからそのまま持ち込みリバースヒットでそれぞれ決め、遂に逆転。その後の山梨学院の反撃を防いだAL飯能が逆転勝利をおさめた。

テクニカルオフィサー	近藤 景久	アンパイア	成田 健一
ジャッジ	渡邊 希一		木下 英貴



高円宮杯 ホッケー日本リーグ 【男子】 第2節 第 3 日

開催日時 6 月 9 日 (土) 会場 親里ホッケー場 天候 曇り

【試合結果】

岐阜朝日クラブ 勝点4 1勝1分1敗	2 $\begin{pmatrix} 1-0 \\ 1-0 \end{pmatrix}$	0	福井クラブ 勝点1 1分2敗
立命館大学ホリーズ 勝点6 2勝1敗	3 $\begin{pmatrix} 1-0 \\ 2-0 \end{pmatrix}$	0	小矢部 RED OX 勝点2 2分1敗
天理大学ベアーズ 勝点9 3勝	4 $\begin{pmatrix} 2-2 \\ 2-1 \end{pmatrix}$	3	Selrio 島根 勝点2 2分1敗

岐阜朝日クラブ 2 $\begin{pmatrix} 1-0 \\ 1-0 \end{pmatrix}$ 0 福井クラブ

勝点 4
1勝1分1敗

勝点 1
1分2敗

得点	岐 阜→ 34分杉下、61分高島
戦評	梅雨の曇り空の中、岐阜のセンターパスにより試合が開始された。両チーム一進一退の攻防の中、先にチャンスを得たのは岐阜。福井陣内左サイド深くでボールをカットし、フリーになっていた#27森がパスを受けドリブルで持ち込みシュートするが福井DFに阻まれ先制にならず。その後も、岐阜は猛攻を続け、34分に#20小池が福井陣内を右サイドからえぐり込み、GK前に構えていた#12杉下がそのままゴール左下に押し込み先制、前半を折り返す。 後半も、終始岐阜が試合をリードする。福井はカウンター攻撃を仕掛けるもあと一歩のところまでゴールに至らない。その中、岐阜がこの試合1本目のPCを獲得。#2百成のパスを受けた#9高島がタッチシュートを決め、2点差とする。反撃を試みる福井もPCを獲得するも岐阜GK岡部の好セーブに阻まれる。岐阜はその後手堅く試合の主導権を握り、2-0で勝利。勝点を4とする。

テクニカルオフィサー	堀田 光昭	アンパイア	小原 直也
ジャッジ	西松 孝治		藤村 利道

立命館大学ホリーズ 3 $\begin{pmatrix} 1-0 \\ 2-0 \end{pmatrix}$ 0 小矢部 RED OX

勝点 6
2勝1敗

勝点 2
2分1敗

得点	立 命→ 26分金藤、44分森、64分森
戦評	小矢部のセンターパスにより、試合が開始された。落ち着いた試合展開の中、20分に立命がPCを獲得するも得点には至らず。しかし26分、立命#7佐々木は左サイドから小矢部陣内のエンドラインをえぐり込みゴール右に詰めた#17金藤がタッチシュートを決め先制とする。その後両チーム決定的なチャンスは得られず、立命が1点リードで後半戦へと繋げる。 後半、両チームはサークルトップ付近での攻防を続けるが得点に結びつかない。その中44分に立命#21高橋が右サイドから小矢部陣内に回り込み、ゴール前に移動した#9森が強烈なスweepシュートをゴール左に決め2-0とする。64分、立命#9森のサークルトップからのリバースシュートは小矢部GKがスティックを弾じきゴールに吸い込まれダメ押しとなる。結局、その後も危なげない試合展開で3-0と立命が快勝し勝点を6とした。

テクニカルオフィサー	中村 康夫	アンパイア	宮川 敏充
ジャッジ	堀田 光昭		中元 大輔

天理大学ベアーズ

4

2 - 2

2 - 1

3

Selrio 島根

勝点 9
3勝

勝点 2
2分1敗

得点	天 理→ 10分小川、31分大野、55分下市、61分黒川
	島 根→ 7分加納、14分加納、65分加納
戦評	天理のセンターパスにより、試合が開始された。目まぐるしい攻防の中、7分に島根がPCを獲得。#13加納がフリックシュートをゴール右に決め先制とする。反撃する天理はカウンター攻撃から#13清水がドリブルで島根DFを振り切りシュート。島根GK和久利が弾いたボールにオーバーラップしてきた天理#10小川が強烈なダイレクトリバースシュートをゴール右下に放ち同点とする。しかし、島根は14分に2本目のPCを獲得。#13加納が2得点目となるフリックシュートを決め2－1とする。31分、負けじと天理も#13清水は島根陣内右サイドから打ち込み、サークルトップに構えていた#2大野にパス。大野は巧みな切り返しから豪快なリバースシュートをゴール左下に決め、振り出しに戻し、2－2で前半を折り返す。 後半も両チーム激しい攻防が続くが、得点には至らない。その中天理は55分にPCを獲得。#3下市がフリックシュートをゴール左上に決め、逆転。さらに天理は61分に#20瀧澤のスルーパスを#8黒川が押し込み点差を広げるが、粘る島根は即座にPCを獲得。#13加納がハットトリックとなるフリックシュートをゴール右上に決め1点差、反撃もそこまで。4－3で天理が勝利し、開幕から3連勝で勝点を9とした。

テクニカルオフィサー	西松 孝治	アンパイア	水谷 吉男
ジャッジ	中村 康夫		近藤 聡史